

— 写真で見る富士山と登山道 —

明治から昭和にかけて富士登山に訪れる観光客に向けて販売していたポストカードには、当時の登山の様子が写真として残されています。下のモノクロ写真は須山口登山道が御殿場口登山道と名を変えて使われていた頃のもので、明治45年(1912)以降、須山口登山道の一部を含む大野原が旧日本陸軍や連合軍、自衛隊の演習場として接収されたため登山道が分断され、攪乱されて失われてしまいました。こうした背景により、登山者が登らなくなったために残された登山道も荒廃して道筋がわからなくなりました。このため山頂から二合八勺（御殿場口登山道との合流点）と道筋のわかる一部が世界遺産として登録されています。



『銀明水（富士山頂上）』



現在の銀明水



『九合目休泊所石室ノ景』



『八合目休泊所石室』



『七合目休泊所石室』



『六合目休泊所石室ト寶永山<sup>ほうえいざん</sup>之景』